

# 200/300 シリーズのリンク層 Discovery Protocol ( CDP ) ( LLDP ) メディア エンドポイント ディスカバリ ( MED ) ネットワーク ポリシー 設定はスイッチを管理しました

## 目標

ネットワーク管理者がマルチベンダ環境のネットワーク管理を解決し、修正することを可能にするリンク層は Discovery Protocol ( CDP ) ( LLDP ) プロトコルです。LLDP メディア エンドポイント探索 ( LLDP-MED ) はエンドポイント デバイスが音声またはビデオのようなアプリケーションのためにネットワークのアダプタイズメントを有効に することのよう なポリシングを行なうメディア、デバイス 位置 ディスカバリおよびトラブルシューティング情報をサポートするために追加機能を提供します。LLDP-MED ネットワーク ポリシーは 一組の音声またはビデオのようなリアルタイムアプリケーションのコンフィギュレーション の設定です。ネットワーク ポリシーは接続されたメディア エンドポイント デバイスに発信 LLDP パケットに含まれています。MED は受け取るネットワーク ポリシーで指定どおりにそれからトラフィックを送信します。この記事は 200/300 シリーズによって管理されるスイッチの LLDP MED ネットワーク ポリシーを設定する方法を説明します。

## 適当なデバイス

- SF/SG 200 および SF/SG 300 シリーズによって管理されるスイッチ

## [Software Version]

- 1.3.0.62

## LLDP MED ネットワーク ポリシー 設定

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは > ディスカバリ-LLDP > LLDP MED ネットワーク ポリシー 『管理』 を選択し。LLDP MED ネットワーク ポリシー ページは開きます:

Network Policy Number	Application	VLAN ID	VLAN Tag	User Priority	DSCP Value
0 results found.					

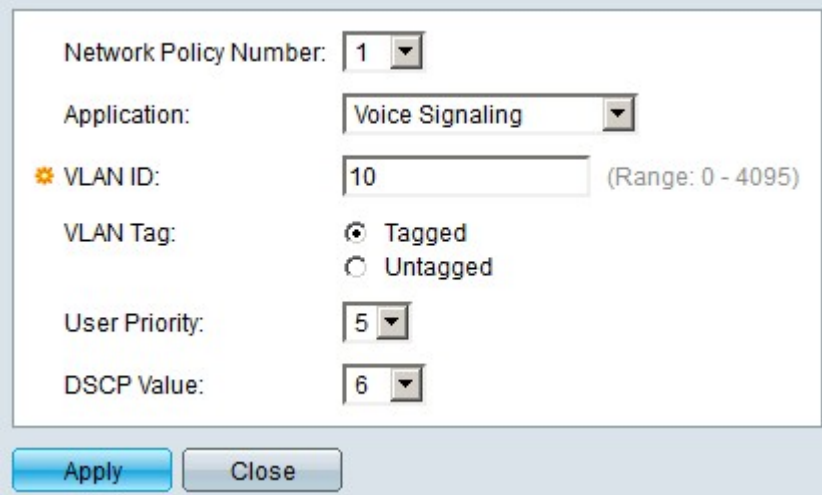
呼び出します。自動的にネットワーク ポリシーを音声 アプリケーション用に生成し、アド

バタイズしたらスイッチのように音声 アプリケーション フィールドがあるように LLDP-MED ネットワーク ポリシーのオート チェックボックスを確認して下さい。

注: ユーザはオート ボックスがチェックされるとき音声ネットワーク ポリシーを手動で設定しないかもしれません。

ステップ 3.現在のコンフィギュレーションをアップデートするために『Apply』 をクリックして下さい。

ステップ 4.新しいネットワーク ポリシーを定義するために、『Add』 をクリックして下さい。追加 LLDP MED ネットワーク ポリシーウィンドウは現われます。



Network Policy Number: 1

Application: Voice Signaling

VLAN ID: 10 (Range: 0 - 4095)

VLAN Tag:  Tagged  Untagged

User Priority: 5

DSCP Value: 6

Apply Close

ステップ 5.ネットワーク ポリシー数ドロップダウン リストで作成されるべきポリシーの数を選択して下さい。

ステップ 6.アプリケーション ドロップダウン リストのネットワーク ポリシーのアプリケーションタイプを選択して下さい。利用可能な オプションは次のとおりです:

- 音声—ネットワーク ポリシーを音声 アプリケーションに適用するため。
- 音声シグナリング—ネットワーク ポリシーを音声シグナリング アプリケーションに適用するため。
- ゲスト音声—ネットワーク ポリシーをゲスト音声 アプリケーションに適用するため。
- ゲスト音声シグナリング—ネットワーク ポリシーをゲスト音声シグナリング アプリケーションに適用するため。
- Softphone 音声—ネットワーク ポリシーを softphone 音声 アプリケーションに適用するため。
- ビデオ会議—ネットワーク ポリシーをビデオ会議アプリケーションに適用するため。
- ストリーミング ビデオ—ネットワーク ポリシーをストリーミング ビデオ アプリケーションに適用するため。
- 映像信号—ネットワーク ポリシーを映像信号アプリケーションに適用するため。

ステップ 7.トラフィックが VLAN ID フィールドで送信 する必要がある VLAN を入力して下さい。

ステップ 8. VLAN タグ フィールドの VLAN をタグ付けする 1 つのオプションをクリックし

て下さい。利用可能なオプションは次のとおりです:

- タグ付けされた—トランク ポートによって異なるスイッチの間で VLAN 情報を渡すこのオプションを使用して下さい。
- タグが付いていない—VLAN がアクセス ポートによってだけローカルで使用される場合このオプションを使用して下さい。

ステップ 9: ユーザ優先順位 ドロップダウン リストで、このネットワーク ポリシーによって定義されるトラフィックに適用される優先順位を選択して下さい。この値は 0 から 7 に範囲がある Class of Service ( CoS ) 値です。各 DSCP 値はネットワークトラフィックをよ

うに続きます処理します:

- 0 —背景説明。
- 1 —最もよい努力。
- 2 —優秀な努力。
- 3 —重要なアプリケーション。
- 4 —ビデオ。
- 5 —音声。
- 6 —制御を相互に作用して下さい。
- 7 —ネットワーク制御。

ステップ 10: Differentiated Services Code Point ( DSCP ) ドロップダウン リストで、相手が送信した 適用業務 データと関連付けることを望む DSCP 値を選択して下さい。相手によってこの DSCP 値がスイッチに送られる適用業務 データを示すのに使用されています。DSCP はネットワークトラフィックに適切なサービス品質 ( QoS ) を管理し、提供しま

す。

ステップ 11.設定を保存するために 『Apply』 をクリックして下さい。

イメージは下記の設定の後で LLDP MED ネットワーク ポリシー ページの変更を描写しま

す。

<input type="checkbox"/>	Network Policy Number	Application	VLAN ID	VLAN Tag	User Priority	DSCP Value
<input type="checkbox"/>	1	Voice Signaling	10	Tagged	5	6

Step 12. LLDP MED ネットワーク ポリシーを編集するために、編集したいポリシーのチェックボックスをチェックし 『Edit』 をクリックして下さい。

Step 13. LLDP MED ネットワーク ポリシーを削除するために、編集したいポリシーのチェックボックスをチェックし『Delete』をクリックして下さい。